

バイオマスタウン

50747 菅 康博

バイオマス

バイオマス 動植物から生まれた
再生可能な有機性資源

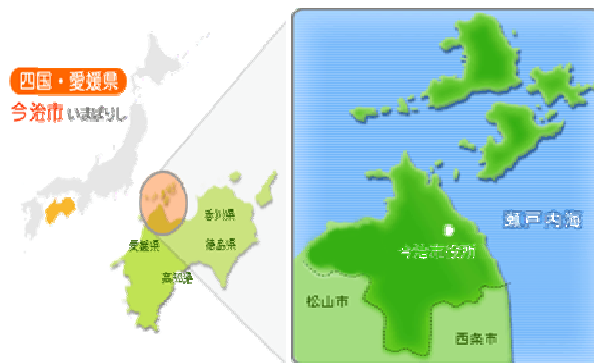
生産 ・バイオマスの生産から利用までが効率的
に行えるシステムが構築されている地域

収集 **バイオマスタウン**

変換 ・バイオマスは「広く、薄く」存在するため広
範囲では形成できない

利用 地域ごとに分散したシステムが必要

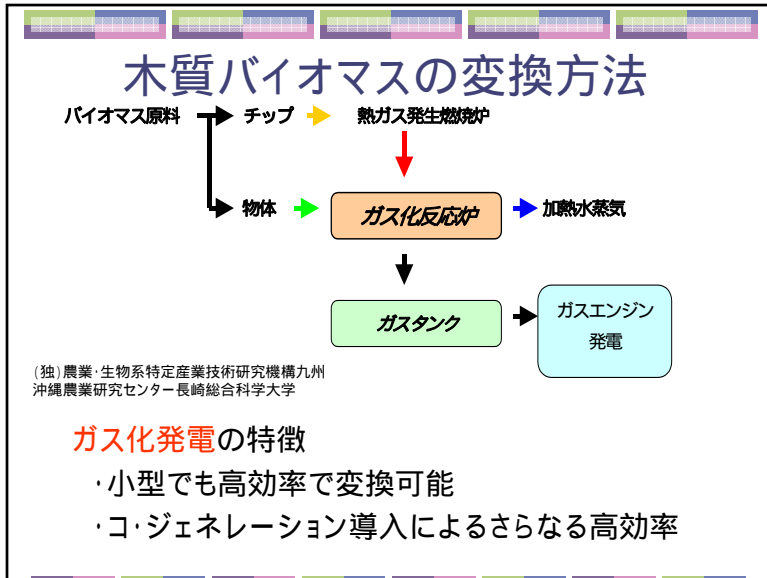
今治市の位置



今治のバイオマス資源

バイオマス資源	賦存量P1 (Gcal)	利用可能量P2 (Gcal)
もみ殻(H14)	6463.4	2585.3
間伐材(H14)	173099.0	34619.8
生ゴミ(H14)	63581.2	19074.4
畜産(H14)	13913.0	1391.3
下水汚泥(H13)	2411.0	2411.0

今治市市民環境部環境政策課参照



エネルギー利用法

今治の名産品 = **タオル**
 電気をタオル工場で使用
 今治市の森林からつくれるエネルギー
 34,620Gcal=40GWh
 バスタオル1枚作るのに1kWh必要
 バスタオル4千万枚
 年間200万枚生産可能



今治バイオスタウン

効果 CO₂の削減
 (バスタオル1枚あたり340g)
 タオル生産の活性化
 (ブランドとしてのイメージ)
 林業の活性化

導入に向けて

最大の課題 = コスト

- ・間伐材の輸送費用
- ・エネルギー変換施設(発電所)の建設費用
- ・エネルギーの輸送システムの整備

輸送コストの解消

- 林道の整備 効率的な搬出
- チップやペレット(木片)に加工して輸送する
- 川を利用した輸送